

平成28年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 20

千葉県立犢橋高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身につけており、高校生活を真面目に取り組む意志のある者。さらに、本校の教育活動の特色を理解し、次のア又はイのいずれかに該当する者。

ア 学習全般に興味・関心があり、入学後も意欲的に取り組むことができる。

イ 部活動・生徒会活動・学校行事等で実績や資質を有し、入学後、特別活動を積極的に行う意志がある。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	各評価項目の評価をもとにして数値で評価する。
(3) 面接	集団面接。面接官3名。1グループあたりの面接時間約15分。各面接官が5段階で評価し、数値化する。
(4) 適性検査	「作文」「バスケットボール」「バレーボール」「野球（男子のみ）」 「ソフトボール（女子のみ）」「剣道」「ソフトテニス（テニス）」「陸上競技」 「サッカー（男子のみ）」「吹奏楽」 の中から受検生が出願時に選択した検査を実施し、その結果を数値化する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書 下記アの数値に、イ～エについて加点（上限210点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	① 全学年・全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 ② 教科の評定に「1」がある場合、審議の対象とする。
イ 行動の記録	① 行動の記録の○印の数及び基本的な生活習慣について評価し、数値化する。 ② ○が一つもない場合は、審議の対象とする。
ウ 出欠の記録	① 3年間の出欠状況を評価し、数値化する。 ② 欠席が3年間で30日を超える場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項 総合所見	委員会・生徒会・部活動・その他について評価し、数値化する。

(3) 面接

評価項目	評価基準
ア 志望動機	・志望の動機が明確であるか。 ・学習・特別活動に意欲的に取り組もうとしているか。 ・人物、言葉遣い、態度及び基本的な生活習慣について、3名の面接官がそれぞれ5段階で評価し、数値化する。
イ 学校生活への意欲	
ウ 基本的な生活習慣の確立等	

(4) 適性検査 (以下のア, イのどちらかを選択する。)

評価項目	評価基準
ア 作文	題に対応しているか等について5段階で評価し, 数値化する。
イ 実技検査	各種目についての取り組む意欲・態度, 資質・将来性等について5段階で評価し, 数値化する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

以下の手順に従って審議する。

ア (総合点) = (5教科の得点合計 (500点))
+ (調査書の評価点 (3(2)参照))
+ (面接の評価点 (75点))
+ (適性検査の評価点 (80点))
を算出する。

イ 次の(ア)から(ウ)までの条件を備える者をA組とし, この者は入学許可候補者内定者とする。

(ア) 総合点において上位から予定人員の80%以内にあること。

(イ) 特に問題となる点がない者。

ここで, 「特に問題となる点」とは以下の事柄を指す。

- ①面接で最低ランクの評価があること。
- ②調査書の教科の学習の記録について, 評定に「1」があること。
- ③調査書の出欠の記録について, 3年間の欠席日数の合計が30日を超えていること。
- ④調査書の「行動の記録」に○が一つもないこと。
- ⑤その他, 本校において学校生活を送る上で問題となること。

(ウ) 学力検査で10点未満の教科がないこと。

ウ A組に属さない者をB組とし, 総合点(上記の4(1)アにより算出したもので, 「5教科の得点合計」, 「調査書の評価点」, 「面接の評価点」, 「適性検査の評価点」の合計。)をもとに総合的に判定し, 予定人員まで入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には, 選抜のための資料に加え, 提出されたことにより, 不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度卒業者については, 個人面談を行う。